

(単位:千円)

	平成30年度当初予算額 A	令和元年度当初予算額 B	増減 B-A
	予算額	予算額	予算額
3 琵琶湖の保全および再生のための事項	29,617,748	31,477,357	1,859,609
(1)水質の汚濁の防止および改善に関する事項	14,281,771	14,036,782	▲ 244,989
(2)水源のかん養に関する事項	9,129,760	10,287,075	1,157,315
(3)生態系の保全および再生に関する事項	1,578,499	1,576,238	▲ 2,261
(4)景観の整備および保全に関する事項 (※再掲)	172,786	180,074	7,288
(5)農林水産業、観光、交通その他の産業の振興に関する事項	4,627,718	5,577,262	949,544
4 琵琶湖保全再生施策の実施に資する調査研究に関する事項	236,282	255,082	18,800
5 琵琶湖保全再生施策に取り組む主体その他琵琶湖保全再生施策の推進体制の整備に関する事項	110,056	144,818	34,762
6 琵琶湖保全再生施策の実施に資する体験学習を通じた教育その他の教育の充実に関する事項	614,599	818,301	203,702
合計 (※)	30,578,685	32,695,558	2,116,873

主な増減: 令和元年度は前年度と比較して、約21億円の増額。

増額の主な要因: 県営農地防災事業、県営かんがい排水事業などの公共工事において、国の防災減災・国土強靱化のための緊急対策に対応したものの。

減額の主な要因: 土砂災害防止法に基づく基礎調査事業の完了による砂防事業の減、下水道の湖南中部処理区管理における点検数量の減、琵琶湖博物館展示事業の第2期リニューアル終了による減など。

新規の主な事業: 琵琶湖におけるプラスチックごみ問題調査検討事業、南湖湖底環境改善事業、気候変動適応推進事業など。

※「(4)景観の整備および保全に関する事項」については再掲。「合計」については、再掲を除いている。



琵琶湖を「守る」ことと「活かす」ことの好循環の創出

【予算額 32,696百万円】※

「琵琶湖保全再生施策に関する計画」関連予算

<内 訳>

- 水質の汚濁の防止および改善 14,037百万円
- 水源のかん養 10,287百万円
- 生態系の保全および再生 1,576百万円
- 景観の整備および保全に関する事項 (※再掲) 180百万円
- 農林水産業、観光、交通その他の産業の振興 5,577百万円
- 施策の実施に資する調査研究 255百万円
- 施策に取り組む主体、推進体制の整備 145百万円
- 施策の実施に資する体験学習を通じた教育、その他 818百万円

※「景観の整備および保全に関する事項」については再掲。「合計」については、再掲を除いている。

